

# 伊丹ルーテル教会 聖霊降臨後最終主日礼拝

## 2020年12月20日

### 前奏：

#### 主を待ち望む

1. 主を待ち望むアドベント 最初の蝋燭灯そう 主が道を備えられた この時を守ろう  
★主の民よ 喜べ、主は近い
2. 主を待ち望むアドベント 第2の蝋燭灯そう 主がなされたその様に 互いに助けよう★
3. 主を待ち望むアドベント 第3の蝋燭灯そう 主の恵み 照り輝き 暗闇を照らす ★
4. 主を待ち望むアドベント 最後の蝋燭灯そう 主はこの世に来たり給う 心こめ歌おう★

#### 招きのことば：詩編 98 編 1-6 節

新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。

右の御手、聖なる御腕によって 主は救いの御業を果たされた。

主は救いを示し 恵みの御業を諸国の民の目に現し

イスラエルの家に対する 慈しみとまことを御心に留められた。

地の果てまですべての人は わたしたちの神の救いの御業を見た。

全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。

歓声をあげ、喜び歌い、ほめ歌え。 琴に合わせてほめ歌え 琴に合わせて、楽の音に合わせて。

ラッパを吹き、角笛を響かせて 王なる主の御前に喜びの叫びをあげよ。

#### 罪の悔い改めと赦しのことば：

**会衆：**私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。

思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に

罪人です。神様、本当にごめんなさい。私たちは祈ります。私たちを救うため あなたが

お与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。

(短い黙祷を持ちましょう)

**牧師：**何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・

キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。ですから神様の御言葉をとりつぐ

務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言 します。父と、御子と、聖霊のお

名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。 **アーメン。**

#### 使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死して葬られ、

陰府(よみ)にくんだり、三日目によみがえり、天に昇り、父なる全能の神の右に座したまえり。生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず**、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、限りなきいのちを信ず。 **アーメン**。

### 祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたは私たちのために救い主をお送りくださいました。クリスマスにお産まれになって人となってくださった神の独り子、イエス・キリストによって、私たちは罪びとを赦し神の子とするあなたの圧倒的な愛を知りました。クリスマスは神様の愛の実現した日です。神様、今朝ここでともにクリスマスをお祝いさせてくださることを心から感謝をいたします。

クリスマスは神様の奇跡の日です。私たちを作り、すべてを統べ治めておられる神様が、罪のために迷い、心がたかくなっている私たち人間を救うために肉をとって私たちの間に宿ってくださった日です。

クリスマスの意味も知らずに毎年お祝いしてきた私たちを、あなたは聖書の御言葉によって導き、私たちをイエス様のもとに招いてくださいました。イエス様は信じ受け入れる者に神の赦しといのちを与えてくださいます。暗闇の中に住み、一歩先も見えない私たちですが、あらたに生まれさせて下さり、神様に信頼をして歩いていくものとしてくださいました。

今朝、新たにいのちをいただき、私たちは喜びに満たされて新しい一歩を踏み出します。どうか今週も私たちと共にいて私たちを導いてください。神様の恵みによって人々を赦し、神様のまことをもって正しく歩いていくことができますように、あなたの証し人として人々にイエス様の福音をお伝えすることができますように、そして、互いに愛し合い、高めあう一週間となりますように。

新型コロナ・ウィルスの感染はまた拡大しています。緊張感を保ちながら、その中でも御手にゆだね確信をもって、あなたの子どもとして安心して生き生きと生きる日々を与えてください。この祈りを、私たちの救い主であり主であるイエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。 **アーメン**。

### 使徒書朗読：ヘブル1章1-4節

神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時代には、御子によってわたしたちに語られました。神は、この御子を万物の相続者と定め、また、御子によって世界を創造されました。御子は、神の栄光の反映であり、神の本質の完全な現れであって、万物を御自分の力ある言葉によって支えておられますが、人々の罪を清められた後、天の高い所におられる大いなる方の右の座にお着きになりました。御子は、天使たちより優れた者となりました。天使たちの名より優れた名を受け継がれたからです。

**福音書朗読：ヨハネによる福音書 1章 1-14節**

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。彼は光ではなく、光について証しをするために来た。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

**讃美歌 109 番**

- 1 きよしこの夜 星はひかり、救いのみ子は まぶねの中に 眠りたもう、いとやすく。
  - 2 きよしこの夜 み告げうけし まきびとたちは み子の御前に むかすきぬ、かしこみて。
  - 3 きよしこの夜 み子の笑みに、恵みの御代(みよ)の あしたの光 輝けり、ほがらかに。
- アーメン

**説教：「神によって生まれた」**

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、御言葉をとりつぎます。

1. クリスマスの物語りをご存じですね。マタイの福音書やルカの福音書にはマリヤとヨセフに神様のみ使いがイエス様の誕生を伝えたこと、人口調査の登録のために旅に出ている間にイエス様がお生まれになったこと、羊飼いたちに天使があらわれたこと、東の国の博士たちがはるばるイエス様を拝みに旅をしてきたことなど、クリスマスにまつわる物語りが記されています。しかし、今朝読まれたヨハネの福音書にはクリスマスの意味が書かれています。それは三つのメッセージです。神が人となって私たちの間に宿られた、という圧倒的スケール、私たち人間は暗闇であり神様の贈りものであるイエス・キリストの誕生を理解し信じることができない圧倒的問題、そして神様はイエス様によって正しく私たちを赦して神の子としてくださる圧倒的救いのメッセージです。ヨハネの福音書は独特の語り口で、私たちにクリスマスの真理を教えています。

2. ヨハネは語ります。「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。」とあります。また「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたした

ちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。」とあります。クリスマスは神が肉をとって私たちの間に宿った日です。すべてを作り、神と共にあり、神であった御子イエス・キリストが、人となってくださった日です。人類がまだすべてを知り尽くしていない宇宙のすべて、人の一生がほんの一瞬に思えるような長さの歴史、クリスマスは私たちに天地創造という、空間と歴史のすべてを含む圧倒的スケールで迫ってきます。神様の圧倒的スケールのなかでは、私たちの人生はなんと小さく、短いものかどうか。クリスマスは歴史のすべて、天地のすべて、神様のすべてのかかった出来事です。

3. ヨハネは続いて語ります。「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」また、「言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。」と言います。これは圧倒的な問題です。神様が人となって私たちの間に宿られ、私たちのところに来たのに、私たちは理解せず、認めず、受け入れません。なぜでしょうか。暗闇の中で生まれ、暗闇が当たり前と思って育ってきた私たちは、光が来ると違和感を感じて無視します。また反抗します。言が自分の民のところに来たのに受け入れません。ここでは人間の陥っている圧倒的な問題が語られています。神様から離れて生きてきたので、神様のことはおとぎ話のような架空のことに思えます。ありもしないのに人間の心が作り出した気休めだと考えます。神様がおられたとしても自分とは関係のない方と判断しています。人生は偶然と運が支配していて、なるようにしかならないのだから、変な期待はあきらめてじたばたせず、運命に身を任せていくことが心の平安を産むと考える人もいます。

4. しかしヨハネは続けます。「神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。」また、「しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。」と言います。神様は、私たちの圧倒的な問題を、圧倒的な救い主によって突破してくださったのです。私たちが自分ではわからない光であるイエス様を、バプテスマのヨハネが証してくれました。この方が救い主である、と今も聖書の御言葉が証言しています。私たちは自分の考えで及ばないイエス様のことを、聖書のみ言葉によって知り、信じ、そのいのちにあずかることができるのです。言であり、光であり、いのちであるイエス様は、み言葉を信じてイエス様を受け入れるすべての人を神によって生まれた神の子としてくださいます。ここに圧倒的な救いがあります。

5. 最初にお話ししたように、ヨハネはクリスマスに人としてお生まれになったイエス様が、父なる神さまの独り子だったと証しました。「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。」イエス様は恵みに満ちていて、また同時に真理に満ちている方です。イエス様は単に

恵みの方というのではなく、私たちへの恵みに満ちた方です。イエス様は、捨て身の愛をもって私たちのところに来てくださいました。なんとかして私たちが霊的な迷い子の状態から神様の子どもになることができるように、どうしても実現したいという愛をもって私たちのところに来てくださいました。神様から遠く離れて神様のもとに帰ることも思いつかず、帰る道も知らない迷い子の私たちを迎えるために、扉をあけてくださるだけではなく、私たちのところにはるばる来てくださり探し出してくださって、連れて帰ってくださいます。恵みに満ちたイエス様にとって、私たちが神様の子どもになることは、できたら実現したい、という淡い希望ではなく、私たち次第だ、というどっちでもいいことではありません。なんとしても、できるすべてをかけて実現したいと願って、人となってくださり、私たちの間に宿ってくださいました。暗闇の中で何一つ確かなものが見えない私たち、神様がおられるのかどうかさえない定かではない私たちのところに、イエス様が恵みをもって突破してきてくださったのです。ヨハネ1:18には「いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。」と記されています。イエス様の方から私たちのところに来てくださった恵みの出来事、これがクリスマスです。

6. イエス様は恵みに満ちた方であるとともに、同時に、真理に満ちた方でもあります。だからこそ私たちは神様の子どもとして安心して神さまと交わりを持つことができます。神様の赦しは真実な赦しです。神様は暗闇に生きてきた私たちを広い心で、寛大に、大目に見て赦してくださいました。神様の赦しは中途半端な暫定的なものではありません。私たちが人間だから罪を犯すのは仕方がない、小さなことだから、みんながやっていることだから、そんな些細なことで罪を責めると将来性の芽を摘むことになるので、目をつぶって問題にしないようにする、というような赦しではありません。イエス様は真理に満ちた方です。神様の正しさの前で全面的に、徹底的に罪深い私たちのために、ご自分が永遠の償いのいけにえとなってくださいました。神様のみ前で申し開きのできない私たちのために、イエス様は十字架の上で進んでご自分のいのちを与えてくださいました。ですからただしい神さまは、イエス様が自分のために十字架で死んでくださったと信じる者を、その罪のゆえに裁くことがなく、無条件で赦して、神の子としてくださるのです。そしてそれは圧倒的な赦しです。信じて洗礼を受けたものがこれからの人生で神さまの面汚しをしても、イエス様のゆえにすべての罪はすでに赦されています。イエス様は私たちを、あらゆる不安、後悔、罪の縛りから解放してくださいます。私たちはみ言葉を信じて、光の中を、正しく愛されている命に預かって歩みます。

7. ヨハネはクリスマスの意味を語りました。クリスマスは天と地のすべてと全歴史のかかった圧倒的なスケールを持っています。そしてイエス様は神の独り子として、私たちの圧倒的な問題を圧倒的な救いで突破してくださいました。イエス様の誕生をお祝いする今朝、ご一緒に短くお祈りいたしましょう。

8. 「愛する神様、聖書のみ言葉によってイエス様がお生まれになったクリスマスの意味をあらためて味わいました。圧倒的な罪びとである私を、イエス様が圧倒的な恵みと真理をもって赦して、神の子としてくださいますことを感謝をいたします。聖書の語る通り、イエス様をわたしの救い主と信じて受け入れます。罪赦され神の子とされた喜びに生きる毎日を導いてください。主イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン」

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってください。アーメン。

### 讃美歌 112 番 献金 献金感謝の祈り

- 1 諸人 (もろびと) ごぞりて むかえまつれ、久しく 待ちにし 主は来ませり、  
 <繰返し> 主は来ませり、主は、主は来ませり。
- 2 悪魔のひとやを うちくだきて、捕虜(とりこ)をはなつと 主は来ませり、<繰返し>
- 3 この世の闇路を 照らしたもう たえなる光の 主は来ませり、<繰返し>
- 4 しほめる心の 花を咲かせ、めぐみの露おく 主は来ませり、 <繰返し>
- 5 平和のきみなる み子を迎え、救いのぬしとぞ ほめたたえよ、  
 ほめたたえよ、ほめ、ほめたたえよ。 **アーメン**

### 主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなせたまえ。われらの日用の糧を今日も与えたまえ。われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。 **アーメン**

### 頌栄：讃美歌 543 番

主イエスの恵みよ、父の愛よ、御霊の力よ、ああ御栄えよ。 **アーメン**

### 祝福の言葉

仰ぎこいねがわくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しきお交わりが、御前に集う一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、豊かにありますように。 **アーメン**

### 後奏